

はまかせ

風が運ぶお知らせ便り♪

ワンランク上の病院をめざして

私たちは、患者さんの意思を尊重し、
高度で良質な医療を提供することによって、地域社会に貢献します。



Photo : 新西宮ヨットハーバー

nishihosp.nishinomiya.hyogo.jp

Message メッセージ

より安全な医療の提供をめざし、手術前業務を一括管理

術前センター設立にあたって

■業務概要、Q&A、スタッフ紹介 etc.

Information お知らせ

■にしびようTopics

県医師会設立医学会で最優秀賞 ほか

■生活習慣病予防

「いつ食べるか」を重視

■患者サービスの向上をめざして

■院長エッセイ「四季雑感」

～脳の報酬系～

■医療技術NOW!

最新型デジタルガンマカメラを導入

■絵の中の風景を旅するvol.1

にしびよう美術館館蔵品を毎回紹介



術前センター設立にあたって

看護師長 高田ゆかり



ちょうど今から1年前、長野県佐久総合病院に術前センターの見学に行っていました。そこから術前センター設立への道のりが始まりました。そこでは手術全例が術前センターを経由し、術前検査、術前説明を含む術前業務すべてが行われていました。

当院では、平成20年にDPCが導入され、外来で術前検査を行うことで外来業務に負担が生じていました。忙しい外来業務の中で検査結果のチェックを行い、必要な患者には内科、循環器受診を組み込み、手術日までの調整をすべて主治医が判断し、行っていました。

手術準備に関する説明も、診療補助業務をしながらでは十分とは言えない状態でした。加えて診察場内の煩雑な環境で説明を行うことに対し、患者さんも看護師も不安、不満を抱いていました。そこで、標準化した術前検査・説明を行ない、より安全な医療を提供するために手術前業務を一括管理する「術前センター」が設立されることになりました。

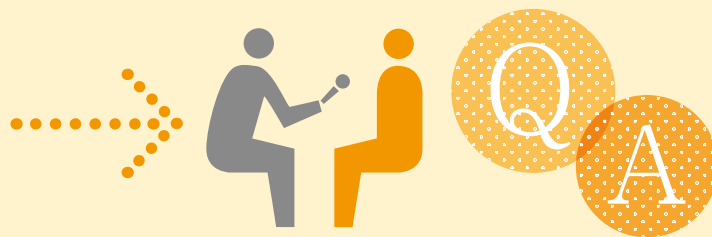
12月末現在で87名の患者さんを担当させて頂きました。今後は症例数を増やして手術全例を目指してまいります。

術前センターの主な業務内容

- ①術前検査オーダー
- ②データ及び既往歴、アレルギーのチェック、必要な患者には外来(内科、循環器科、麻酔科)診察予約
- ③薬剤師による持参薬のチェック、抗凝固薬の休薬指示、休薬開始日に患者宅へ電話連絡
- ④CT、MRIなどの予約検査日程調整
- ⑤入院パス、手術合併症の説明(DVT含む)入院費概算の説明
- ⑥連携歯科医へ周術期口腔機能管理
- ⑦入院中の点滴薬剤オーダー入力支援



術前センターに質問! INTERVIEW



Q 術前センターが設立されて、外来、病棟スタッフの反応はどのようなですか？

A まだ対象パスが6つですので周知度は低いですが、症例数の多い泌尿器科医師からは「業務がスムーズになった」と言って頂いています。病棟スタッフからも「患者さんからの質問が少ない印象を受ける」等の意見をもらいました。

Q 患者さんからの意見はどのようなですか？

A 「前に同じ手術を受けたが、こんなに丁寧に説明してもらえなかった」と言って頂いたことがあります。しかし、他科受診やそれに必要な予約検査を受けてもらうにあたり、(医師から説明を受けるのと違い)説明に時間を要することがあります。

Q 医療事務作業補助者さんにお聞きします。ご苦労されていること、心掛けていることがあれば教えてください。

A オーダー入力の際は責任の重さを感じ、大変緊張する作業です。検査部、放射線部にもご協力頂き、予約がスムーズに入力できています。患者さんには、安心して頂ける対応を心掛けています。

最新情報

平成24年4月からスタートし、対象パスは腹腔鏡下結腸、直腸切除術、子宮頸部円錐切除術、前立腺全摘術のみでした。10月からは独立した部署としてオープンし、11月から前立腺生検、腹腔鏡下卵巣摘出術、腹腔鏡下胆嚢摘出術が加わり、25年1月からは乳腺手術も対象とします。4月からは、さらに順次対象パスを増やしていく予定です。

術前センターでは、今まで行っていなかった周術期口腔機能管理を実施しています。西宮歯科医師会と連携し、全身麻酔対象の患者さんには必ず歯科受診をお勧めしています。

術後肺炎予防だけでなく、麻酔導入の際の安全性を高めることができている。



スタッフ紹介



- 専任看護師/佐藤 麻衣子
- 専従看護師/江藤 奈央美
- 看護師長/高田 ゆかり
- 薬剤師(交替制)/
福井 由美子 本間 久美子 太田 あづさ 宮城 朋代
- 医師事務作業補助者/
濱田 知子 山崎 佳代 黒瀬 由希
- 診療部長/乾 由明 ● 産婦人科部長/信永 敏克
- 外科部長/辻江 正樹 ● 泌尿器科部長/西村 憲二

第65回兵庫県

医師会設立医学会で

最優秀賞

「腹痛、腰痛を主訴とし、病診連携をメインテーマにした症例報告」のテーマで計18の演題が発表されましたが、その中で、当院医師を中心とするチームによる発表「右腰背部痛と発熱を主訴に受診し急激な増大を来した感染性大動脈瘤の一例」が最優秀賞を受賞。当院研修医（1年目）の松井雄一Dr.がチームを代表して表彰状と副賞を受け取りました。



地域医療連携センターへ改編

平成25年1月1日より、地域医療連携室・医療相談室が地域医療連携センターに改組されました。



阪神南医療圏域における中核医療機関、また兵庫県地域医療支援病院として、今後はさらに院内各診療科・部門はもちろん、地域の医療・保健・福祉機関等との密接な連携と協力体制強化を図り、スタッフ一丸となって高度で専門的な医療や療養に関する支援に力を注いでまいります。

生活習慣病予防

日本人の摂取エネルギーは年々減っているにも関わらず、肥満や糖尿病など生活習慣病が急増しています。これは、肥満の原因が飽食だけでないことを示しています。健康的な生活のために、「何を、どれだけ」に加えて、「いつ食べるのか」という食べ方を重視した時間栄養学がクローズアップされるようになりました。毎日続く睡眠不足や遅い夕食、また、朝ごはんを食べない不規則な生活が、生体リズムの乱れとなり、生活習慣病の原因となっています。まずは、夜型生活から早起き生活へ。そして、朝の光をあびることで体内時計はリセットされます。ダイエットしたい人ほど「朝食はしっかり」を意識することで代謝アップが期待



栄養指導を実施中

できます。栄養指導では、何を、どのように食べたいのか、また食生活リズムの修正の仕方も合わせてアドバイスさせていただきます。（栄養指導課・大岡智子）

患者サービスの向上をめざして

X'masコンサートを開催



昨年12月21日（金）、本館ロビーで恒例のクリスマスコンサートを開催しました。今回は、診療部の吉岡Dr.グループと雪岡看護師を中心としたブラス隊が、それぞれにユニット演奏を競演。このコンサートは、患者サービス向上委員会と院内スタッフによる手づくりのボランティアイベントとして毎年続けられており、今年も厳しいクリスマス寒波の到来を忘れさせるホットなひとときを提供してくれました。次は、七夕頃にサマーコンサートの開催を予定しています。（看護部・足立育子）

四季雑感



忘 年会・新年会と続いた怒濤の宴会シーズンも一段落し、正直、ほっとしているところがありますが、寒い冬ならではの鍋料理、美味しい地酒など、まだまだ飲む・食べるの誘惑は引きもきりません。この時期はつつい食べすぎ、飲みすぎになってしまいがちです。毎年のことですが体重計を見ると気後れをさせていただきます。そう言っているうちに、また歓送迎会のシーズンを迎えてしまいますから、増えた体重をもとに戻すのに夏までかかることもあります。

ヒトはなぜ美食をするのでしょうか? どうも美食により「報酬」として何らかの快樂が得られることが大きくかかわっているようです。この美味を味わうことによる快樂には、「脂肪や砂糖に対する依存症」が背景にあり



ます。甘いものがあると、どうしても手が出てしまい、食べ始めると止まらなくなってしまう。このメカニズムとして、いわゆる「脳の報酬系」が関与しているそうです。

脳のある部分を刺激すると、「愉快的気分」や「リラックスした気分」になることが知られていますが、美食の「報酬系」も大脳の同じ部分にあるようです。美食すると、ドーパミンというホルモンが脳内で増えて、ある種の快感が生まれるというわけです。

食事で満腹になってもデザートは「別腹」とよくいわれます。ある食物で満腹すると、それ以上は美食の快感ホルモンは分泌されないのですが、困ったことには甘いものなどを食べると、このホルモンがどっと放出されてしまうのです。というわけで、美食によって幸福感や満ち足りた気分になれるのは、一つにはこのホルモンによる報酬系のおかげだということです。

今年こそは! 食の誘惑に負けまいと意気込むのですが、すでに宴会続きで体重がオーバーしはじめています。皆様はいかがでしょう。



院長
河田 純男

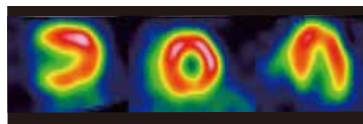
医療技術 NOW!

西宮病院の「今」がわかる。

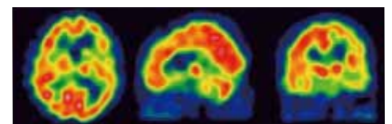


▲核医学検査室

最新のデジタルガンマカメラSymbiaE(東芝社製)が導入されました(平成24年12月)。旧装置より高感度な検出器が搭載され低ノイズで高画質な画像情報を提供できるようになりました。また充実したソフトウェアも搭載しましたので、これまで困難であった定量検査やダイナミック検査も容易になり核医学診断の精度が大きく向上しました。
(放射線科・山崎敏弘)



▲心筋シンチ



▲脳血流シンチ

絵の中の風景を旅する vol.1

<http://www.nishihosp.nishinomiya.hyogo.jp/>

当院外来ロビーや各病棟には、地域の方々や入院患者様、そのご家族などからのご寄贈による200点以上にもぼる絵画が飾られています。“にしびょう美術館”の貴重な“館藏品”は、当院ホームページ内の「にしびょうWebミュージアム」でも常設展示していますが、これらの作品の中から、毎回、ちょっと気になる1作品をとり上げてご紹介いたします。一緒に、絵の中の風景を旅してみませんか。



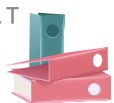
展示場所

本館9階北側の
デイルーム壁面

患者さんたちが、面会や休憩の場として集う場所に飾られており、目にしている人は多いかもしれない。異国の街角にあるレストランとおぼしき店頭の石畳にオープンカフェが設けられ、人々が憩っている。日常の一幕を切り取ったような絵だが、ゆったりと流れる時と空気がデイルームの空間にも流れ出しているかのようだ。日々の煩忙に追いかけている時に、ふと立ち止まって眺めたら、あの中の路地に佇むもう一人の自分を発見してしまうかもしれない。潜在意識の中に巧みに潜り込んできそうな光景だ。

編集後記

編集室 Y.T



お手元にお届けしました新生「はまかせ」の印象はいかがでしたでしょうか？

地域の皆さまに、西宮病院の「いま」をさらにリアルに知っていただければ・・・そんな願いを込めてリニューアルいたしました。年4回の発行スケジュールは変わりませんが、カラー化したことにより、今後はさらに折々の季節感をも体感してもらえる誌面づくりを心がけていきたいと考えていますので、未永くご愛読のほどよろしく願いいたします。

H A M A K A Z E

2013.01
Vol.01

兵庫県立西宮病院

〒662-0918 兵庫県西宮市六湛寺町13番9号
TEL:0798-34-5151(代表) FAX:0798-23-4594

地域医療連携センター FAX:0798-34-4436

E-mail:chiiki-kn@hp.pref.hyogo.jp

nishihosp.nishinomiya.hyogo.jp

2013.02 発行